

横浜の子どもたちを放射能から守る会主催 講演会

今も収束していない福島第一原発事故による放射能汚染。事故現場から約250 km 離れたここ横浜でも局地的に放射線量の高い箇所（ホットスポット）が見つかるなど、その広がりが明らかになっています。

また、放射能の影響は土壌の汚染からだけでなく、たとえ非汚染地域であっても流通する食べ物の汚染から受ける内部被曝が懸念されます。

では何を気をつけたら良いのか？ チェルノブイリで起きた事故を教訓にし、大人より放射線被曝の影響が強いといわれる子どもたちを守るために、私たちが暮らし子育てをしている横浜では何をしたらよいのか、菅谷・松本市長に学びます。

この講演会で、多くの親や園・学校の先生が現実を受け止め、放射能の正しい知識を得て、正しい判断をし、行動するきっかけになることを願っています。



現長野県松本市長・医師

Akira Sugeno

# 菅谷昭氏に学ぶ

## 横浜で子どもたちを放射能から守るには

（チェルノブイリ被災地で医療支援をした医師、現・松本市長の提言）

### 【菅谷昭（すげのや あきら）氏のプロフィール】

現長野県松本市長・医師。1943年長野県生まれ。信州大学医学部卒業後、甲状腺疾患の専門医として活躍。1996年に信州大学を辞めて、チェルノブイリ原発事故被災地の医療支援活動のため、ベラルーシ共和国に渡る。首都ミンスクの国立甲状腺がんセンター、高度汚染地域のゴメリの州立がんセンター等で、小児甲状腺がんの外科治療を中心に、5年半の医療支援活動を行った。帰国後、2004年に長野県松本市の市長に就任。チェルノブイリ原発事故の現状を踏まえながら、NPO 法人「チェルノブイリ医療基金」の活動とともに、さまざまな提言を松本から発している。

### 【著書】

- 『チェルノブイリ治療記』（新潮文庫）
- 『チェルノブイリいのちの記録』（晶文社）
- 『ぼくとチェルノブイリのこどもたちの5年間』（ポプラ社）
- 『真っ当な生き方のススメ』（岳陽舎）
- 『子どもたちを放射能から守るために』（亜紀書房）



**日時** 2012年1月26日(木) 18:30 ~ 20:00 (受付開始 18:00)

**会場** 開港記念会館・講堂 JR 京浜東北線「関内」駅 南口より徒歩10分  
みなとみらい線「日本大通り」駅 出口1から徒歩1分

**参加費** 500円 定員 480名  
0~1歳児のみ同席可。2歳以上は右記の保育をご利用ください。

**保育あります** **要予約**  
2歳~未就学児：500円/人  
小学生：無料（ビデオ放映のみ）  
※ 各定員20名 当日受付不可

**参加方法** 事前申し込み制。12月19日(月)より受付。

### 【WEB申し込みフォーム】

「横浜ママパパの放射線だより」サイト (<http://yokohama-konan.info/>) から講演会申し込みフォームに必要事項を記入し、送信してください。

### 【問い合わせ先】

電話番号：070-6556-4745 (山下) または 090-3961-1503 (生野) メールアドレス：benkyoukai.yokohama@gmail.com

